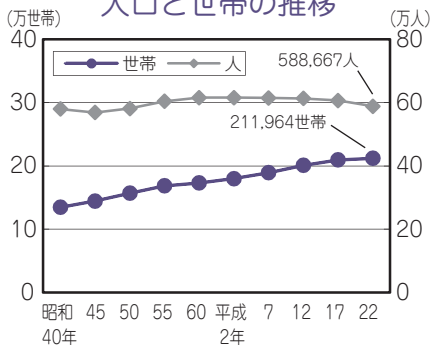


人口に関する主な指標

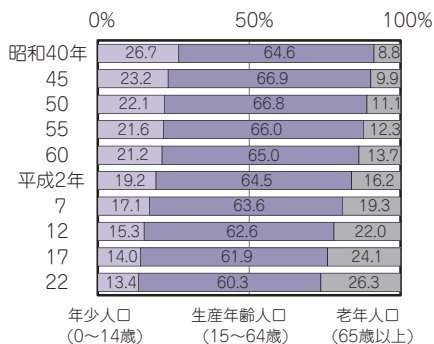
指標名	鳥取県	全国	年次
人口密度(1km ² 当たり)	163.7人	336.2人	26
老年人口割合(65歳以上)	29.1%	26.0%	26
自然増加率 (人口千人当たり)	△ 4.6‰	△ 2.0‰	26

総務省「人口推計」

人口と世帯の推移



年齢3区分別人口割合

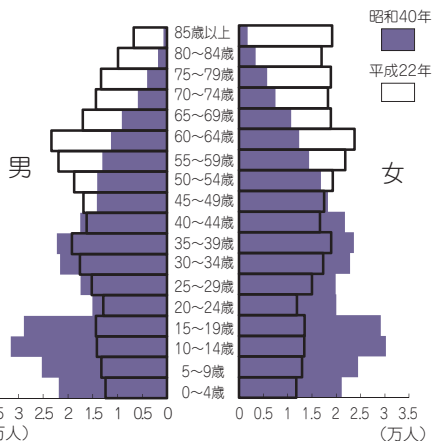


(人 □)

平成22年国勢調査によると、本県の人口は588,667人、総世帯数は211,964世帯で、平成17年に比べ、人口は18,345人の減少、総世帯数は2,423世帯の増加となっており、平成22年の1世帯あたりの人員は2.71人で、平成17年に比べ、0.12人の減少となっています。

年齢3区分別人口割合の推移を見ると、年少人口(0~14歳)割合は低下する一方、老年人口(65歳以上)割合は上昇しています。

鳥取県の人口ピラミッド



世帯数及び人口(各年10月1日)

年次	世帯数 (総世帯)	人口			前回に対する人口増減		1世帯あたり人員 (一般世帯)	人口密度 (1km ² 当たり)
		総数	男	女	人	%		
	世帯	人	人	人	人		人	人
平成 2年	179,829	615,722	294,899	320,823	△ 302	△ 0.0	3.38	176.0
7	189,405	614,929	294,414	320,515	△ 793	△ 0.1	3.20	175.3
12	201,067	613,289	293,403	319,886	△ 1,640	△ 0.3	3.00	174.9
17	209,541	607,012	290,190	316,822	△ 6,277	△ 1.0	2.83	173.1
22	211,964	588,667	280,701	307,966	△ 18,345	△ 3.0	2.71	167.8

資料 総務省「国勢調査」

(世帯)

平成22年国勢調査によると、世帯人員別一般世帯数の割合では、1人世帯及び2人世帯の割合の合計が全体の半数以上となっています。

また、家族類型別一般世帯では、単独世帯の割合が上昇傾向で推移する一方、三世代同居世帯の割合は低下しています。

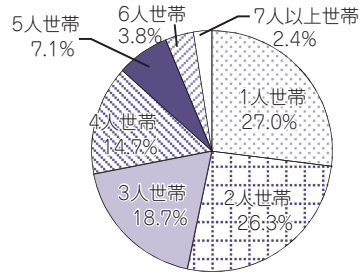
(未婚率)

昭和40年から平成22年までの年齢階級別未婚率の推移を見ると、男性・女性とも各年齢階級において上昇しています。昭和40年に比べ、女性の25～29歳では40.8ポイントの上昇、男性の30～34歳では38.8ポイントの上昇となっています。

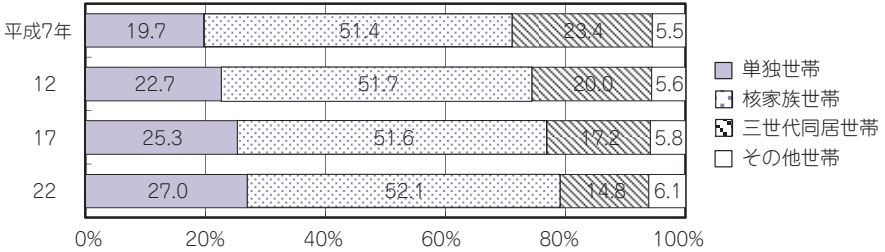
世帯に関する主な指標

指標名	鳥取県	全国	年次
1人世帯当たり人員 (一般世帯)	2.71人	2.42人	22
核家族世帯割合 (一般世帯に占める割合)	52.1%	56.4%	22

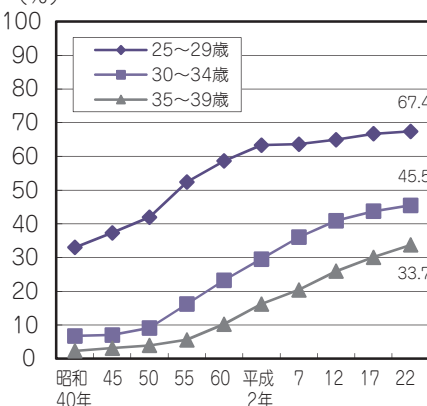
世帯人員別一般世帯数の割合



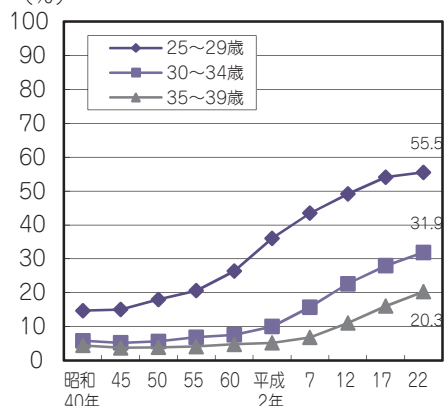
家族類型別一般世帯数割合の推移



年齢階級別未婚率 (男性)



年齢階級別未婚率 (女性)



資料 すべて総務省「国勢調査」

人

出生・死亡率の指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
出生率(人口千人当たり)	7.9	18	8.0	26
*死亡率(人口千人当たり)	12.4	35	10.1	26
合計特殊出生率	1.60	8	1.42	26

資料 厚生労働省「人口動態調査」

合計特殊出生率の推移

年次	全国	鳥取県
昭和40年	2.1	2.1
45	2.0	2.0
50	1.9	1.9
55	1.8	1.9
60	1.8	1.9
平成7年	1.6	1.8
12	1.5	1.7
17	1.4	1.47
22	1.4	1.54

資料 厚生労働省「人口動態調査」

※「合計特殊出生率」とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計した値である。

合計特殊出生率

$$= \left(\frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right) \left[\begin{array}{c} 15歳から \\ 49歳までの合計 \end{array} \right]$$

これは、年齢構造の影響を除いた出生率の水準を示す指標であり、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

(人口動態)

平成26年の出生数は4,548人、死亡数は7,092人で、その結果、自然動態は2,544人の減少となりました。

また、県外からの転入者数は10,485人、県外への転出者数は11,594人で、その結果、社会動態は1,109人の減少となりました。

この結果、平成26年の人口動態は、3,653人の減少となり、前年(4,174人の減少)と比べ、減少幅が縮小しました。

人口動態の推移

年次	自然動態	社会動態
平成22年	-2,100	1,400
23	-2,000	1,300
24	-2,200	1,100
25	-2,400	1,200
26	-2,500	1,100

(人) 資料 県統計課「鳥取県人口移動調査」

県外移動者の前住地・転出先別割合

(平成26年1月1日～12月31日)

移動種別	前住地/転出先	割合 (%)
転入	島根	14.8
	外国	11.5
	大阪	9.7
	岡山	8.2
	兵庫	8.1
	広島	7.6
	その他	40.2
転出	島根	11.7
	大阪	11.0
	兵庫	9.7
	岡山	9.4
	東京	8.5
	外国	7.6
その他	42.2	

資料 県統計課「鳥取県人口移動調査」

— 6 —